

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	平成23年度 高松市安全で安心なまちづくり推進協議会
開 催 日 時	平成24年2月21日（火） 14時00分～
開 催 場 所	高松市役所 11階 113会議室
議 題	(1) 会長の互選 (2) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について (3) 平成22年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業報告について (4) 高松市安全で安心なまちづくり支援事業計画について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	13人
	滝川委員（会長）、多田委員（職務代理者）、赤松委員、池田委員、上田委員、大河内委員、小野委員、葛西委員、岸上委員、千崎委員、戸城委員、前田委員、山地委員
傍 聴 者	0人（定員 若干名）
担 当 課 お よ び 連 絡 先	地域政策課 地域振興係（TEL 839-2277）

協議経過および協議結果
<p>※議題(1)近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組についての報告のため、香川県警察本部安全安心まちづくり推進室長が出席。</p> <p>(1) 会長の互選 条例に地域の取組について触れられていることから、地域の代表者であるコミュニティ協議会の滝川委員が推薦により会長となった。また、会長の指名により職務代理者は多田委員に決定した。</p> <p>(2) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について（警察本部報告） <u>報告内容</u> 犯罪発生件数自体は目に見えて減少しており、また、検挙率も上がっている。しかし、市民の方の「安全になった。」という実感は少ないと思われる。それは、凶悪な犯罪が後を絶たないことなどが原因と考えられる。</p> <p>過去に多発していた窃盗犯の減少から、犯罪発生件数事態は減少しており、犯罪発生件数を減らす取り組みを継続すると共に、凶悪犯罪を減らすことが大きな目標である。</p> <p>自転車窃盗や空き巣犯罪は、多くが鍵を掛けていないことから狙われるため、ツーロックなど施錠に注意することが大切。</p>

振り込め詐欺については、手口が巧妙化し、香川県内でも発生事例が確認されていることから、引き続き十分に注意して欲しい。

警察本部ではセーフティポリスの登録を行っており、地域で規範意識を持って防犯等に取り組んでくださる方を募集している。

質問等

(委員) セーフティポリスについて、高松市では何人程度の登録があるのか。

(県警) 今日は資料を持っていないので、具体的な数は申しあげられないが、高松市は北署・南署管内について言えば、数千人が登録していると思われる。香川県内では1万人程度の登録がある。

(委員) 登下校の見守りをしている地域団体にアピールすれば団体全員で加入してくれるように思う。

(県警) 様々な団体へのアプローチをしているが、ここもという団体があれば教えていただきたい。

(委員) 地域の活動において必要であれば積極的にPRしていきたいと考えている。

(3) 平成22年度安全で安心なまちづくり推進支援事業報告について(事務局報告)

報告内容

- ・防犯セミナーの開催
- ・地域における防犯活動への助成
 - (1) 安全・安心活動基盤整備事業補助金
 - (2) 安全・安心まちづくり推進事業補助金
 - (3) 安全・安心防犯環境整備事業補助金
- ・防犯灯の新設等への助成
- ・防犯協会等への助成等

質問等

特になし。

(4) 高松市安全で安心なまちづくりの支援事業計画について(事務局報告)

計画内容

- ・防犯セミナーの開催
- ・地域における防犯活動への助成
 - (1) 安全・安心活動基盤整備事業補助金
 - (2) 安全・安心まちづくり推進事業補助金
 - (3) 安全・安心防犯環境整備事業補助金
- ・防犯灯の新設等への助成
- ・防犯協会等への助成等

質問・意見等

(委員) この計画は何年度の計画になるのか。

(事務局) 平成23年度の計画になっている

(5) その他

委員から

見守り隊についての報告

見守り隊の任期は平成24年3月31日で一端終了する。その後の運営については、県の予算が大幅に削減されるため、ほぼボランティアによる活動になる。現在は、交通費や会議し悦の利用代等が確保できなくなる。そのため、それぞれが所属する地方公共団体から手助けをしていただきたい。

見守り隊は、高松市はいくつかのブロックに分かれている。活動としては年金支給日に銀行の前等でチラシを配るなどの活動をしている。

(事務局)

地域から必要とされているものであるため、できるだけ支援はさせていただきたい。ただ、来年度については予算時期も終わってしまっているため財政的援助は難しい。

資金面でなければ、今後、支援自体は積極的に行っていくようにする。

事務局から

委員の方の中に地域の防犯活動に従事されている方がいらっしゃるため、地域の防犯活動や青パトの実施状況についてこの場で報告等していただきたい。

(委員)

- ・青パトの実施による効果は、防犯の側面はもちろん、ゴミのポイ捨てや放置自転車等の抑止にも役立っている。

- ・県警が推進する防犯カメラの設置について。

地区によっては道路の幅の関係で、青パトの運行が困難な地区もある。なので、そういったところに防犯カメラを優先的に設置して欲しい。

- ・木太地区は青パトも防犯カメラもある。木太地区も細い路地が多いが、青パトの運行を行っている。木太地区については

- ・赤松委員は防犯カメラを使用して下着泥棒を捕まえた。

- ・防犯カメラの設置に感謝している。今後設置予定はないのか。

(警察本部)

- ・防犯カメラについては、今年度までは基金等を利用して設置してきたが、要望等がまだまだあることから、平成24年度に一般財源を利用して継続する計画を立てている。

灯数事態は現在の県下100灯/年から30灯/年までに減少する。

(委員)

- ・被害者支援について詳しく知りたいので取り上げて欲しい。